

御田小だより

～ みんな元気 たのしい 御田小 ～



港区立御田小学校

学校便り

令和6年1月9日 No. 10

発行者 御田小学校長

齋藤 恵

2024年 昇り竜のごとく

校長 齋藤 恵



新年あけましておめでとうございます。

今年は辰年。辰年は陽の気が働いて万物が振動するので、活力が旺盛になり、大きく成長し、形が整う年なのだそうです。さらに、今年は「甲辰（きのえたつ）」。甲と辰が合わさる今年は、辰年の「変革（転機）」や「激動」が示すように、時代が大きく動く年となるかもしれないとのこと。また、「成功の芽が伸び姿を整えていく」

ことから、これまでの努力が実って夢がかないやすい年などとも言われています。

「辰」は言うまでもなく「竜」のことです。十二支の中で、竜だけが唯一想像上の生き物で、時には恐ろしい怪物とされることもあります。水之神として祀られてきた竜は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「竜が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。ちなみに、竜の姿は、角は鹿、頭は駱駝、目は鬼、体は蛇、腹は蟹（蛇とキジが合体した想像上の動物）、鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎。耳は牛に似ており、長い髭と顎の下に一枚の逆鱗（「逆鱗に触れる」…触れてはならないものに触れ、相手を怒らせてしまうということわざはここから来ました）を蓄えています。知恵と力を兼ね備えた存在ともされる竜は、君主や英雄の象徴にもなっています。その鳴き声は嵐や雨雲を呼び、竜巻となって天を駆け上り、飛翔していきます。御田小学校も、春からの新しい環境に臆することなく、雨嵐を味方につけて天を駆け上がる勇壮な昇り龍のように、元気いっぱい、エネルギーな一年にすべく、教職員一同全力で邁進していきたいと思っております。本年もご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、現在生活している校舎は、4月から改築に向けて取り壊すこととなります。そこで、「校舎思い出プロジェクト」として、PTAの協力もいただきながら、これまでお世話になった校舎に感謝の気持ちを込めつつ、思い出作りのイベントとして、全校児童で校舎の壁面に絵を描くことになりました。昨年のうちに代表委員会から概要について話をし、2学期中に各学年でテーマを決めました。早い学年はすでにテーマに沿って下書きを描き始めています。1月の下旬から、順次、壁面にスクールガッシュというアクリル製絵の具とマーカーを使って大きな絵を描いていきます。このアクリル製絵の具は、窓ガラスにも描けるので、工夫次第でとても楽しいものになりそうです。校舎の壁面に自分がデザインした絵を描けるといふ貴重な体験ができるので、子供たちにとってよい思い出になると考えています。また、体育館の壁面には全校児童の共同作品にしていきます。最後の校舎を楽しい作品でいっぱいにし、3月2日にはその姿を保護者の皆様、地域の皆様、かつてこの校舎から巣立っていった卒業生の皆さんにもお披露目する予定です。

また、移転に向けて引っ越しの準備も始まります。4月から、徒歩またはバス、電車での通学になりますので、1年生から5年生は、3学期中に、安全確認も含め、仮校舎となる旧三光小学校までの道のりを歩いてみようと考えています。もちろん、それぞれの自宅からは通学路が異なると思いますので、ぜひ各ご家庭で通学路の確認をお願いいたします。なお、通学についてご不明な点がございましたら、学務課へお問い合わせください。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。